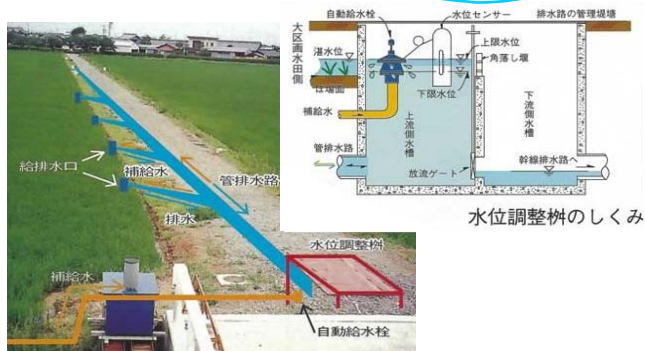


短報で見る愛知農総試の成果〔共通〕

水田の大区画化に適した新しい水管理 「一括かんがい・一括排水技術」

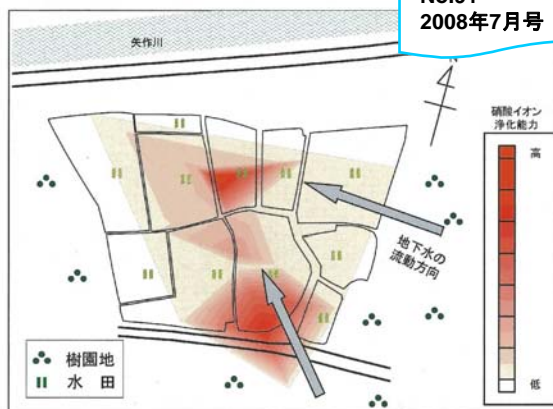
No.50
1995年10月号



管路の下流端に水位調整樹と自動給水栓を設置することにより、用水を無駄なく利用でき、落水も一度に行うことができます。この技術を導入した大区画水田では、水管理が従来の1/3になりました。

水田下層土は地下水中の硝酸イオンを浄化する

No.91
2008年7月号

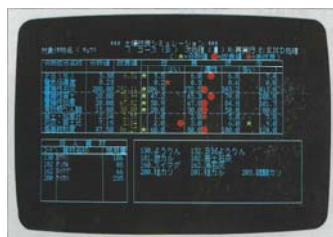


矢作川下流域の調査水田下層土における硝酸イオン浄化能力

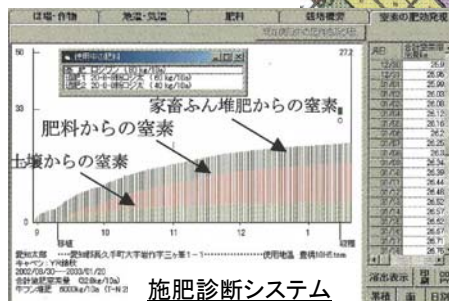
河川流域に広がる水田群の下層土は、地下水中の硝酸イオン浄化能力が高いことが分かりました。

パソコンによる 土壌診断システムの開発

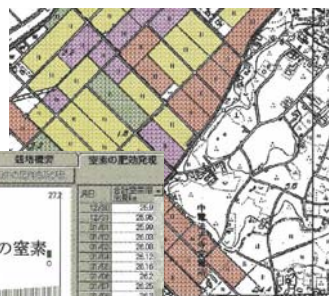
No.22
1988年10月号



初期のシステム



施肥診断システム



土壌マップシステム



土壌診断システム

パソコンを使って土壌診断処方箋を打ち出すことのできるシステムを開発しました。現在では農耕地の土壌管理を土壌診断、施肥診断、土壌マップシステムにより土壌改良資材投入量や施肥量を算出できます。このシステムの利用により無駄のない土壌管理ができます。

トマト黄化葉巻病を 遺伝子レベルで診断

No.76
2003年6月号

トマト栽培で問題となる黄化葉巻病ウイルスをLAMP法を用い迅速・簡易・精確に検出できる技術を栄研化学(株)と共同で確立しました。診断手順はサンプルをすりつぶした液をLAMP反応液に滴下し保温します。感染の有無は反応液が白濁するかどうかで判定できます。



ウイルス感染トマト

健全なトマト

水田生態系ネットワークの再生



No.97
2010年8月号
(生物多様性特集)

メダカなどが河川や水路と水田を行き来する豊かな自然を再生するため、「半円形コルゲート管魚道」と「魚道付き転倒堰」を開発しました。

野菜・花き類に「タバココナジラミ」が発生

タバココナジラミは1989年の夏頃からポインセチア、トマト、ナスなどでの発生を確認しています。2005年には殺虫剤が効きにくくトマト栽培で大きな問題となっているパイオタイプQの発生を確認しました。



No.30
1990年10月号

日本で初めて発生したエンドウ萎凋病の防除対策



2002年に日本で初めて愛知県で確認されたサヤエンドウの重要病害「エンドウ萎凋病」について、畦立て前全面土壌消毒による高い防除効果を確認しました。また、抵抗性品種の選定を行い、耕種的防除法の一つとして紹介しました。

No.84
2006年3月号

贈り物にビンの中で咲く花はいかが!



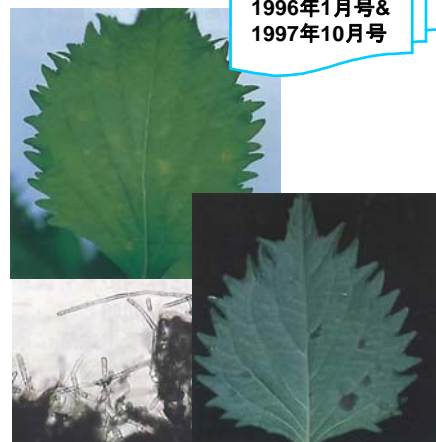
No.82
2005年7月号

ユーストマ(トルコギキョウ)をビンの中で咲かせることに成功しました。

(福花園種苗(株)と共同で特許出願)

長年の懸案オオバ赤点症とアオジソの茎腐れ症の原因はシソ斑点病菌

愛知県特産野菜の一つであるオオバの赤点症、茎腐れ症は現地で大きな問題となっていました。いずれもシソ斑点病菌によるものと解明しました。



No.51 & 58
1996年1月号&
1997年10月号

県内にミナミアオカメムシが拡大



ダイズの子実害虫、斑点米カメムシとして問題となるミナミアオカメムシの発生を2008年に確認、その後は県内生息域を拡大しています。現在、被害防止のための防除法を検討中です。

No.96
2010年6月号

短報の歴史：表紙を飾った成果

No.	年月	成果	担当
1	1983.7	新品種「かなね」誕生 -ファースト系トマト・ 登録申請中-	園芸研究所
2	1983.10	省エネができるシンビジウム の温度管理	園芸研究所
3	1984.1	大きくなりました一名古屋 コーチン	養鶏研究所
4	1984.4	有望品種「マールコート」 ハウス向き中晩生カンキツ	園芸研究所
5	1984.7	綿葉枯病に強いイネ新品種 「青い空」「星の光」	作物研究所
6	1984.10	品種改良で冷害を防ぐ	作物研究所
7	1985.1	飼料費20%節約-生粕配合 を雌子牛の育成に-	畜産研究所
8	1985.4	愛知のイチゴは無病苗で	園芸研究所
9	1985.7	ホルスタインから黒牛誕生 バイオテクノロジーによる 凍結受精卵から	畜産研究所
10	1985.10	連作に強いトマト -三峰ファースト育成-	園芸研究所
11	1986.1	高泌乳牛の栄養改善 コンプリートフィードの 自由採食	畜産研究所
12	1986.4	ピワもハウスで生産安定	園芸研究所
13	1986.7	ナスの水耕栽培に 適ひらせる	園芸研究所
14	1986.10	デンドロビウムの 6月~7月開花技術	園芸研究所
15	1987.1	国産鶏のホープ登場 新しく愛知ライン 『スーパーK87』を開発	養鶏研究所
16	1987.4	イネの「むれ苗」は こうして防ごう	作物研究所
17	1987.7	さすが「梅山豚」 一度に16頭出産	畜産研究所
18	1987.10	電照ギク「秀芳の力」の 優良系統を選抜	園芸研究所
19	1988.1	豚も受精卵移植始まる	畜産研究所
20	1988.4	需要にこたえる プロッコリーの 初夏どり栽培	園芸研究所
21	1988.7	新しい系統豚 「アリスW」を開発	畜産研究所
22	1988.10	パソコンによる 土壌診断システムの開発	生産環境部
23	1989.1	大豆の不耕起播種機を開発	作物研究所
24	1989.4	効率的な農業用水の こみとり装置	生産環境部
25	1989.7	ウイルスフリー化で フキの増収	園芸研究所
26	1989.10	牛の試験管ベビー誕生	畜産研究所
27	1990.1	2年で3回収穫できる イチジク栽培法	園芸研究所
28	1990.4	七色のキク 「レインボーシリーズ」誕生	園芸研究所
29	1990.7	スプレーカーネーション 大苗の移植で年3回収穫	園芸研究所
30	1990.10	C.T.スキャンで生きたまま 牛の肉質・肉量を判定	畜産研究所
31	1991.1	稲種子の簡易発芽検定器を 開発-作業は楽々、能率は4 割アップ-	安城農業 技術センター
32	1991.4	「ニューマチック たん水直播機」を開発	経営流通部
33	1991.7	かしの横綱「名古屋コー チン」がボリュームアップ	養鶏研究所

No.	年月	成果	担当
34	1991.10	桑の葉を食べなくても育つ 蚕による繭生産	生物資源部
35	1992.1	ハウス向きモモ新品種 「ちよひめ」登場	園芸研究所
36	1992.4	ミニトマトの 新しい栽培技術 腋芽によるさし穂苗栽培	豊橋農業 技術センター
37	1992.7	イチゴの新品種 「あかねっ娘」誕生	園芸研究所
38	1992.10	生ビール粕でおいしい牛肉 の低コスト生産	畜産研究所
39	1993.1	殻が丈夫で大きい卵を産む 愛知ライン 「スーパーU90」の登場	養鶏研究所
40	1993.4	ヘリコプター稲作	経済流通部
41	1993.7	「水稲生育度予測システム」 で、おいしい米作り	作物研究所
42	1993.10	「名古屋コーチン」を 果樹園に放し飼ひ	養鶏研究所
43	1994.1	核移植技術でクローン牛の 誕生	畜産研究所
44	1994.4	花で彩る 「わかしゃち国体」	花き研究所
45	1994.7	牧草の育成も細胞融合で	作物研究所
46	1994.10	自然にやさしい病害虫防除	生物工学部 作物研究所 園芸研究所
47	1995.1	スプレーギクの新品種 「アインジクマーチ」	花き研究所
48	1995.4	トマト、温室メロンの新品種 「ラックナファースト」 「アソフイ」誕生	園芸研究所
49	1995.7	新しい洋花「グロリアオー サ」	豊橋農業 技術センター
50	1995.10	水田の大区域化に適した新 しい水管理「一括かんが い-一括排水技術」	経営環境部
51	1996.1	待望の新しい系統豚 「アリスL2」	畜産研究所
52	1996.4	凍結保存した受精卵の （胚）の移植で子豚が誕生	生物工学部 畜産研究所
53	1996.7	大区画水田誕生！ 稲の不耕起乾田直播 試験を開始	安城農業 技術センター 経営環境部 作物研究所
54	1996.10	野生のパワーをキクに導入	生物工学部 花き研究所
55	1997.1	カーネーション ねらった 時期に花を咲かせます	弥富農業 技術センター
56	1997.4	フルーティーな味を醸し出 す酒米「中部酒97号」登場	山間農業研究所
57	1997.7	夏を彩る「花ハス」 の鮮度保持	経営環境部 弥富農業 技術センター
58	1997.10	おいしいお米のニューフェ イス「愛知93号」登場	作物研究所
59	1998.1	個性的なイチゴ姉妹が 誕生しました	園芸研究所
60	1998.4	卵質に優れた 「赤玉鶏愛知ライン」	養鶏研究所
61	1998.7	21世紀に向けて 花きの研究拠点整う	
62	1998.10	イネのトビイロウンカ抵抗 性を遺伝子で判定	生物工学部 作物研究所
63	1999.2	美味しいメロンの 水管理モデル	豊橋農業 技術センター
64	1999.5	大きくて甘いナシ「陽水」 が誕生	園芸研究所
65	1999.9	ツマグロヨコバイに強い 水稲の新品種「大地の風」 を育成	作物研究所
66	2000.1	卵用名古屋コーチンを開発	養鶏研究所

No.	年月	成果	担当
67	2000.5	フキの4回り作型を開発	園芸研究所
68	2000.9	豚胚（受精卵）の簡易な 移植技術を開発	畜産研究所 生物工学部
69	2001.1	着果作業のいらぬおいしい トマトを開発	園芸研究所
70	2001.6	粘りが強く、香りが高い 「愛知ジネンジョ2号 （仮称）」を育成	山間農業研究所
71	2001.10	おいしくて、病気に強い 水稲新品種「あいちのかかり SBL」を育成	作物研究所
72	2002.2	甘くて翌年初夏まで 貯蔵できるナシ 「数月」を育成	園芸研究所
73	2002.6	フタスジヒメハムシ防除で ダイズ収量向上	作物研究所
74	2002.11	病気に強い 温室メロンの新品種	園芸研究所
75	2003.3	極早生で花色が鮮明な スプレーギク「愛知3号」	花き研究所
76	2003.6	キクとカーネーションの 新品種を育成	園芸研究所
77	2003.10	産子数の多い新系統豚 「アリスW2」	畜産研究所
78	2004.3	とげのないナス新品種 「試交04」を育成	園芸研究所
79	2004.6	深水無落水栽培が都市近郊 の水田農業を変える	作物研究所
80	2004.10	省力的で作りやすい 一輪ギクの新品種を育成	東三河農業研究所
81	2005.3	ジュシーでおいしく作り やすいイチゴ「愛知6号」	園芸研究所
82	2005.7	贈り物にピンの中で 咲く花はいかが！	環境基盤研究部
83	2005.10	花の色や形に特徴がある スプレーギク新品種を育成	園芸研究所 東三河農業研究所
84	2006.3	設置が簡単で環境に やさしいトマト栽培地 システムの開発	東三河農業研究所 環境基盤研究部 園芸研究部 企画普及部
85	2006.7	純白で花の大きい 一輪ギク新品種「白幹」	東三河農業研究所
86	2006.12	斑点病に強く香りが良い アオジソ「愛知1号」	園芸研究所
87	2007.3	産肉性の高いデュロック種 新系統「アリスナガラ」	畜産研究所
88	2007.7	開腹手術をしない体外受精 卵移植で子豚が誕生！	畜産研究所
89	2007.10	日持ちの良いフキ新品種 「愛知2号」を開発	園芸研究所
90	2008.2	白地に赤い線取りの新品種 「カーネ愛知3号」	園芸研究所
91	2008.7	不耕起播種栽培で コムギを梅雨前収穫	作物研究所
92	2008.10	葉、一枚で「愛知秋1号」の 品種識別ができます	環境基盤研究部
93	2009.1	日本初、受粉作業のいらぬ 「とげなし」ナス 新品種を開発	園芸研究所
94	2009.8	夏秋系黄色 一輪ギクの新品種 「愛知夏黄1号（仮称）」	東三河農業研究所
95	2009.12	ハウスミカン栽培における ヒートポンプの省エネ効果	園芸研究所
96	2010.6	スプレーカーネーションの 新品種「カーネ愛知4号」と 「カーネ愛知5号」	園芸研究所
97	2010.8	《生物多様性特策》 水田生態系ネットワークの 再生	環境基盤研究部
98	2010.11	艶やかな明黄色の夏秋系黄 色一輪ギク新品種 「愛知夏黄2号（仮称）」	東三河農業研究所
99	2011.1	産子数の多いランドレース 種新系統「アリスL3」	畜産研究所

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

http://www.pref.aichi.jp/nososi/